

農委広報

第50号

2024.1月

たかはた

高島町農業委員会 TEL 52-4479



“農” 農と共に生きる 33

憧れの職業
ナンバーワンを目指して

相良 健さん（亀岡二）

私が就農したのは19年前。長年続く農家で育ちました。高校卒業後は自衛隊に入隊し一度は家を離れました。しかし、帰省した際に目にしたのは、少し年老いて見えた農作業をする父の姿です。父の後を誰が継ぐのか：悩みぬいた末に、家業を終わらせまいと実家に戻り就農する決意をしました。

私が就農した当時は水田約5ヘクタール、果樹約1ヘクタールでしたが、現在は水田を2・2ヘクタールに減らし、デラウエアを基盤に大粒ぶどう・ワイン用ぶどうの果樹を2ヘクタールへと、2倍の面積に転換しました。ぶどう栽培への興味が強かった事が一番の要因ですが、米価がなかなか上がらない現状があり果樹栽培で経営を安定させたい狙いもありました。

父の為にと始めた農業でしたが、今や天職。2年前から妻も就農し夫婦二人三脚になりました。お客様から頂く『美味しい』の一声が何よりやりがいを感じる日々です。

農業が持つマイナスイメージはまだまだ払拭されていませんが、未来ある子供達の『農業は憧れの職業ナンバーワン』にする事が私の目標。

まずは我が子に自慢出来るかっこいいお父さんである為に、先人からの伝統は守りつつも新しい技術や知識を習得して、農業の第一線で活躍出来るよう精進をして行きたいと思えます。



農業委員会

年頭のご挨拶

会長 山口 令和

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新たな年を迎えられていることとお慶び申し上げます。また、農業委員会の活動に対して、日頃より多大なるご理解とご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

農業全般は、ここ数年安定した気候に恵まれず、地球温暖化の影響により異常気象が続いており、その中でも農業経営者は試行錯誤をしながら生産管理に努めてまいりました。しかし、原材料費（原油・肥料・飼料）の高騰により経営収支も大変な状況にあります。さらに、後継者不足により離農者が増え農地の利用調整も厳しさを増してきております。今後、農業経営持続化のためにも、10%以上のコスト削減を意識しながら経営に取り組む必要があります。

さて、「農地利用の最適化」に向けて農林振興課と農業委員会では、農業経営基盤強化促進法の改正により「地域計画」の策定に取り組み、地域農業者と向き合いながら農地利用のあるべき姿を構築し、10年後の「目標地図」を目指し、地域農業の未来を切り開くものにしていきます。

また、国では、食料・農業・農村基本法の見直しにより、将来の農業を維持発展するための施策が本格化してまいります。特に、「適正な価格形成」に関しては、スピード感を持った対策を期待しているところであり、その施策が絵にかいた餅にならないよう私たちが納得できるものとなることを念願しています。

最後に、農業委員・農地利用最適化推進委員がワンチームとなり、本町の基幹産業である農業はもとより、活力と元気に溢れる本町の発展を目指して参りたいと考えております。

今後もお一層関係機関との連携強化を図ってまいります。



今年もどうぞ よろしく願っています。

農業委員

- 高島地区
佐藤 泰彦 (塩森) 菅野 仁一 (金原湯在家)
- 二井宿地区
高梨 修一 (入)
- 屋代地区
嶋津 功美 (時沢) 横山 裕一 (三条目)
齋藤 真徳 (相森)
- 亀岡地区
栗田 亮一 (入生田南) 高橋 正利 (入生田北)
黒田 雅幸 (船橋)
- 和田地区
高橋 稔 (川北下) 庄司 和美 (下和田南)
山田 文則 (下和田南)
- 糠野目地区
萩原 拓重 (上町) 長谷川みどり (上平柳)
安部 春一 (元山崎) 山口 令和 (夏刈)

農地利用最適化推進委員

- 高島地区
遠藤 真二 (飯森) 高梨 義崇 (鳥居町)
- 二井宿地区
長澤 広幸 (中)
- 屋代地区
菅野 誠一 (山越) 結城 義孝 (西館)
樋口 亨 (館の内)
- 亀岡地区
青木 正喜 (亀岡三) 本田 孝博 (中島南)
- 和田地区
二宮 政博 (上和田第三) 近野 元七 (佐沢上)
- 糠野目地区
齋藤 善博 (仲町) 情野 広繁 (中瀬)

まほろばの里

農業の未来を拓く!!

日々進化する農業に目を向け、 情報を取捨選択して行くことが大事

齋藤 良介さん（仲町）

【就農のきっかけ】
 家が農業で幼い頃から身近なものでした。大学で2年間稲作を学び、

は導入のハードルが高いものばかりですが、日々進化する農業に目を向け、情報を取捨選択して行くことが大事だと考えています。

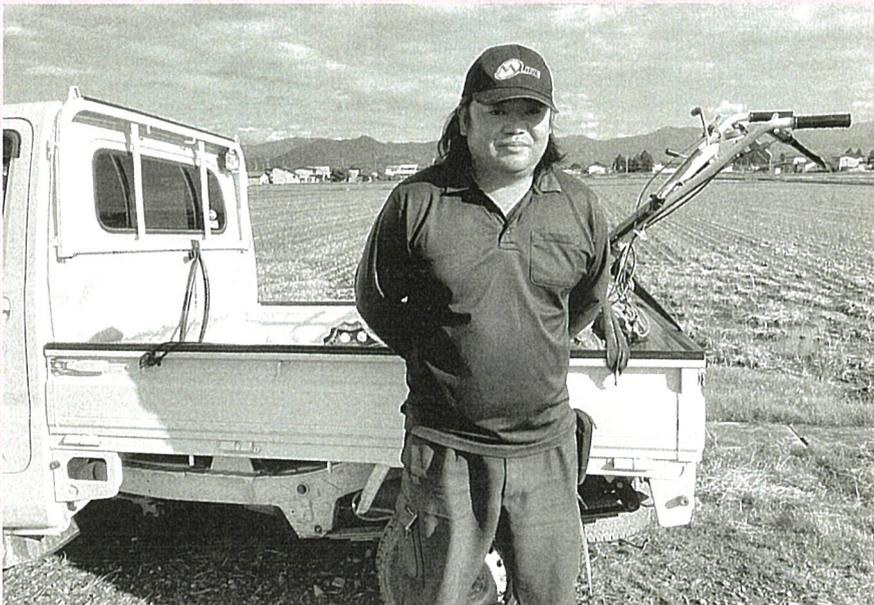
生き物を育てる面白さに触れ、幼い頃からあった農業に対する漠然とした気持ちを確認したものと、なり就農を決意しました。

【現在の経営内容】

現在は水稲15・7ヘクタール、麦1・7ヘクタールです。直近の規模拡大は考えていませんが、昨今の離農者状況を考慮して柔軟に対応していくべきだと思います。

【今後の抱負】

スマート農業による省力化、品質の維持、環境負荷の低減。個人農家では



退任された農業委員・農地 利用最適化推進委員の紹介

農業委員・農地利用最適化推進委員として本町農業の振興に貢献され、昨年7月に任期満了でご退任された方に農業委員会会長より感謝状が贈られました。長年にわたり多大なるご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

退任された農業委員

- 宇佐美 仁（露藤上 9年）
- 齋藤 浩 紀（入生田西 6年）
- 安部 美 紀（元山崎 6年）
- 戸田 雄 市（本町 6年）
- 菅野 誠（金原湯在家 3年）
- 大浦 健 一（上駄子町 3年）

退任された

農地利用最適化推進委員

- 山 博 一（亀岡二 6年）
- 鈴木 重 昭（入生田南 6年）
- 神保 市 和（蛇口 6年）
- 鈴木 陽 一（石岡 6年）
- 高梨 修 一（入 3年）
- 新高 秀 市（野手倉 3年）
- 竹田 昭 二（中才 3年）
- 伊藤 吉 衛（屋代山崎 3年）
- 高橋 善 之（中和田西部 3年）

ちょっと待って!

その土地は 農地では ありませんか?



農地の移動・転用等は手続きが必要です。

- ◇農地を耕作目的で取得したり、借りたりする場合（権利移動）
……農地法第3条許可（旧基盤強化法第19条公告）
- ◇農地所有者が自ら転用し、農地以外にする場合
……農地法第4条許可
- ◇農地を第三者に貸したり、売ったりして転用する場合（権利移動）
……農地法第5条許可

農地法等許可申請の締切日

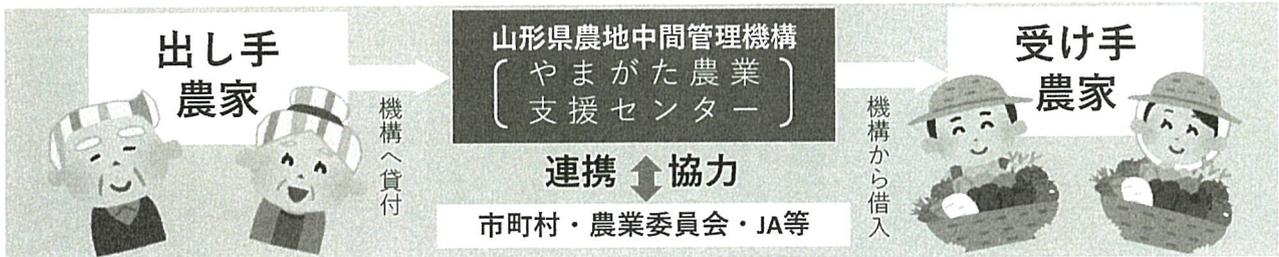
- ◇毎月7日（12月を除く）です。土日・祝日の場合、翌開庁日となります。

合意解約の締切は3月7日まで

- ◇農地の貸し借りを解約する手続きは、原則3月7日で締切となります。早めのお手続きをお願いいたします。

やまがた農業支援センターからお知らせです

農地の貸し借りの制度の **農地中間管理事業** をご活用ください



出し手農家のメリット

- * 公的機関が農地を預かるので安心です。
- * 契約期間終了後には確実に農地が戻ります。
- * 賃料は確実に機構から振込まれます。

受け手農家のメリット

- * 複数の出し手農家の農地を借りても、契約は機構とのみ行うので手間が省けます。
- * 口座振替で賃料の支払いが便利です。

手数料について

◎令和7年から農地中間管理事業の利用には『手数料』のご負担をお願いします。

◎農地中間管理事業の手数料について

農地中間管理事業の運営には、やまがた農業支援センターの自主財源を一部充当している経費があり、この負担が年々増加しています。このため、将来に向けて持続的、安定的にこの事業をご利用いただけるよう、利用者の皆様に一部ご負担をお願いすることといたしました。なにとぞ皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◎手数料の概要

- 対象は令和6年10月以降に公告になる満期再契約及び、更新・新規契約から。（直ちにすべての契約が対象になる訳ではありません）
- 納付いただくのは令和7年の賃料の支払い時点から。
- 以降毎年、出し手受け手それぞれから納付。
- 手数料の額は毎年の賃料に0.75%を掛けた額。（例:10aあたり賃料1万円の場合の手数料は75円）

★詳しくは、やまがた農業支援センター（☎023-631-0697）又はセンターのホームページをご覧ください。

“全国農業新聞”を購読しましょう!!

お申込みは
農業委員会事務局へ
☎52-4479

全国農業新聞は地域農業者の公的代表機関である農業委員会のネットワークが発行する「週刊の農業総合専門誌」です。農家の思いを伝え、農業・農村の「未来」を共に考えます。

●購読料/月額700円 ●発行所/全国農業会議所 ●週刊/月4回金曜日発行

●老後生活をがっちりサポート!!

農業者年金で安心して豊かな老後を!!

農業者年金は、次の要件を満たす方ならどなたでも加入できます

年間60日以上
農業に従事

国民年金第1号
被保険者

20歳以上65歳未満
※60歳以上は、国民年金
任意加入被保険者

- ※1 農業者年金に加入される方は、国民年金の付加年金（付加年金保険料月額400円）への加入が必要です。
- ※2 農業者年金と国民年金基金（旧みどりの年金を含む）及び個人型確定拠出年金とは重複加入できません。

お問い
合わせ

高畠町農業委員会事務局（☎52-4479）

または、JA山形おきたま たかはた支店（☎52-0057）へおたずねください。

農業者年金に加入して

高橋隆浩さん（川北下）

上和田地区でぶどう・りんご・稲作を中心に、一部有機農業にも取り組み複合経営を行っており、立地条件的に集約・大規模化は難しい地域ではありますが、収益を上げながら消費者との交流等も大切に楽しみ・喜びを持ちながら取り組んでいるところです。

農業者年金は祖父が受給しておりましたが、父は加入しておらず家族からのアドバイスもあり、将来の事を考え加入することにしました。

加入に当たり話を聞いてみると、国の補助、税制面での優遇に加え、途中での脱退や再加入も可能で、柔軟性もあり、加入に対してメリットの方が大きいと考え決めました。将来が見通せない農業経営に当たっては、少しでも国民年金にプラスし老後に備えたいと思います。



あなたも農業を始めてみませんか！ 高畠町は新規就農者を応援します



就農までの道のり

1. 実現したい農業経営を思い描く

2. 就農相談

3. 農業を体験する

4. 学校や農家のもとで技術を学び、修得する

5. 就農に向けた準備

6. 農業経営を開始

農業を始めるにあたって何から始めればよいのか、農地はどうしようか、必要な機械はどう揃えたらいいかなどたくさんの疑問が出てきます。高畠町では就農相談を受付けています。まずは就農相談で一つずつ疑問を解決してみましょう！新規就農者に対する支援制度についての相談もお受けしています。

就農相談については、農林振興課農業政策係までお問い合わせください。（☎52-1827）

農業委員会活動報告

大会参加報告(11月13日)

山形県農業委員会 大会に参加して

農業振興専門委員

高梨修一

本年度の山形県農業委員会大会は、寒河江市市民文化会館にて11月13日に開催されました。

はじめに、食料・農業・



農村基本法の見直しと農業委員会組織の役割と題しての講演があり、その後地域計画策定に向けた取組みの活動事例報告がありました。農業委員としての今後の役割を再認識いたしました。

令和5年4月より改正農業経営基盤強化促進法等が施行され、地域農業の将来像をまとめる地域計画を、令和7年3月までに策定することが市町村に

義務付けられることから、地域の実情に踏まえた地域計画とするために農業委員や農地利用最適化推進委員が中心となり話し合いが行われます。農業を取りまく環境は年々厳しい状況にあります。改めて農業委員の重要性を感じた大会でありました。

視察研修報告(11月14日)

視察研修を終えて

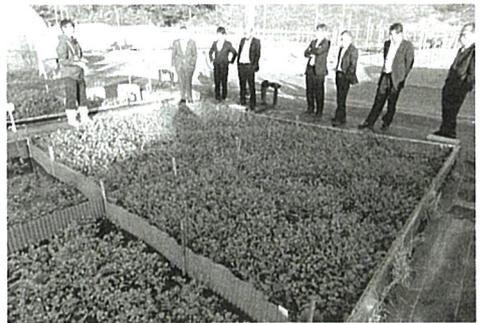
農地専門委員

栗田亮一

宮城県にて視察研修が行

われました。午前は美里町の有限会社イーストファームみやぎにて、代表より会社の概要、沿革などの話をお聞きし、自社の直売所を見学させて頂きました。

土地の集約化を図りながら水稲を中心に、小麦・大豆・馬鈴薯・綿花等を作付し、米はもちろん、切り餅・おこわ・豆腐・みそ等の加工食品の販売も手広く行っており、消費者のニーズに応えながら安心安全な米、加工食品を安定的に販売しておられ、これまで築き上げた努力と熱意が感じられました。目標地図の前身となるような取組もされており、今後、地域計画の



目標地図作成の参考にして行きたいと思いました。

午後は宮城県農業・園芸総合研究所で、現在開発に取り組んでいる「気候変動適応技術」についてお聞きしました。

近年の地球温暖化による異常気象で農作物への影響を受けない為に、暑さにも強い品種の改良、色の薄い作物へ強制的に色を付ける技術、CO2排出量削減及び冬の暖房コスト低減を図る為の木質バイオマス暖房機の利用など、これからは実際に良い品質の作物、安定した収量、収益を上げるには欠かせない技術になるのではないのでしょうか。

編集後記

昨年は何と言っても、過去に類を見ない猛暑に加え、夏の降水量も少なく厳しい残暑が長く続きました。昔は稀だった異常気象が、温室効果ガスの増加など地球温暖化の影響により、世界各地で頻発するようになったと考えられています。自然相手の農業にとつては、なんとも歯がゆく厳しい現状に、何か明るい光が差し込んでほしいと願うばかりです。

また、5月8日には、新型コロナウイルス感染症は5類感染症に位置付けられました。感染症が確認されてから、3年以上の長きにわたった対応もひとまず区切りを迎えることとなりました。

この冬は暖冬との予報ですが、まだまだ寒さ厳しき折、皆様におかれましてはどうぞご自愛ください。

最後に、農委広報を発行するにあたり、ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

(編集委員長 長谷川みどり)

農委広報「たかはた」

編集委員

| | | |
|------|-----|-----|
| 委員長 | 長谷川 | みどり |
| 副委員長 | 嶋津 | 功美 |
| 委員 | 山田 | 文則 |
| 委員 | 黒田 | 雅幸 |
| 委員 | 萩原 | 拓重 |
| 委員 | 高橋 | 正利 |